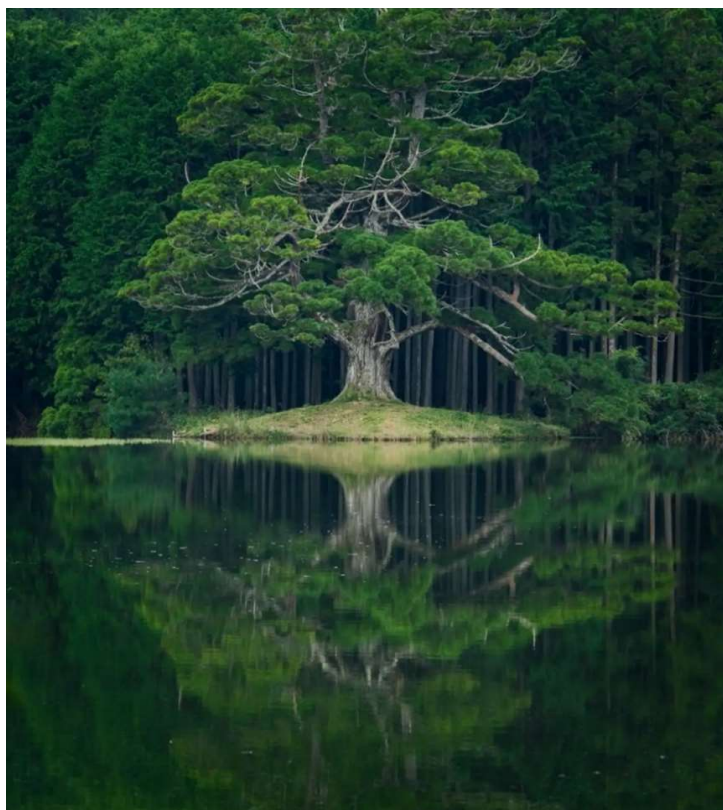


2023年 エコアクション 環境活動レポート

運用期間: 2019年4月1日～2025年3月31日

公表開始: 2024.5.1(2023年度実績報告)



甲賀市の木(すぎ)・花(ささゆり)・鳥(カワセミ)を守ろう



甲賀協同ガス株式会社

クリーンエネルギーを通じて、快適な暮らしを提供

会 社 理 念

1. 安全・安心で快適な暮らしを提供し地域社会の発展に寄与します
2. 地域NO1のベストミックスエネルギー会社を目指します
3. お客様第一としてステークホルダーの利益と全社員及びその家族の幸せを追求します

K K G S D G s 方 針

1. 人々の生活を豊かにします
2. 社会の生活基盤を支えます
3. 未来の環境を考え行動していきます
4. 社員とその家族の幸福を追求します
5. 地域の活性化に尽力します



イワタニグループ環境憲章

1. 資源を有効利用するための技術、社会の持続的発展に寄与する新エネルギーの普及や環境良品の普及を通じて、温暖化をはじめとする地球環境負荷低減に努めます。
2. 事業の諸活動を通じて、省資源・省エネルギー及び廃棄物の低減に努めます。環境関連法規及び、当社が同意する環境に係わる要求事項を遵守します。
3. 環境目的及び目標を設定し見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進し汚染の予防に努めます。
4. 社員に対し環境啓発・教育を実施します。

K K G 環 境 方 針

甲賀協同ガス㈱は「ガス&ライフ」を企業コンセプトにLPガス・都市ガス(以下ガスという)を基軸とした生活商品の提供で事業展開しています。弊社はこれらの全ての事業活動において、上記の「イワタニグループ環境憲章」精神に則り、甲賀・湖南地域(以下地域という)の環境や風土を考慮し、地域社会との共生に努め、循環型社会の構築に貢献します。

特に基幹商品であるガスは地球温暖化防止に効果がありクリーンで災害に強い分散型のエネルギーとして高く評価されております。よってエネルギー販売を通して地域の低炭素社会の実現に寄与することを重要な使命と考えております。

またCo2排出係数の少ない高効率ガス給湯器・ガス衣類乾燥機等の販売、燃料電池エネファームやハイブリット給湯器、ガスヒートポンプエアコン、非常用ガス発電機やLED等の普及など多彩な活動で、省エネと電力ピークカットの実現を行うと共に、単一のエネルギーに依存しないベストミックスエネルギーとしてのガス提供で地域の環境構築に貢献してまいります。

限りある化石燃料資源を長期的に販売できるように、再生可能エネルギーである太陽光発電システムや蓄電池システムの販売普及を行うとともに、自らも太陽光発電による売電事業を継続しCo2削減に努め、カーボンフリーの実現を目指してまいります。

あわせて環境に関する法令順守を基本とした経営を行うとともに、全社員が環境を意識した持続可能な取組を行う組織作りをしてまいります。

2024年 5月 1日
甲賀協同ガス株式会社
代表取締役社長 森永浩之

1. 会社概要

1-1. 商号・所在地・連絡先

(1) 商 号 甲賀協同ガス株式会社

(2) 〒528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘12番地

TEL (0748) 62-0914 Fax (0748) 62-3955

1-2. 事業規模 (2023年度実績)

売 上 高 : 1,822,340 千円
経 常 利 益 : 112,030 千円
従 業 員 数 : 48 名 (2024.3.31現在)



1-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環 境 管 理 責 任 者 : 代表取締役社長 森永浩之

担 当 責 任 者 : 管理部 部長 廣岡諒一 不動産・企画課 主任 中邨 悠

連 絡 先 : TEL (0748) 62-0914 FAX (0748) 62-3955

ホ ー ム ペ ー ジ : <https://www.kokakyodogas.co.jp>

1-4. 対象範囲

全組織及び全活動をCo2削減活動につなげる

1-5. 事業内容

ガス販売	LPG・都市ガス・LNG
ガス機器全般販売	エココンロ等・EJ給湯器・ファンヒーター・衣類乾燥機・エネファーム・エコワン
業務用厨房機器販売	業務用フライヤー・ガス厨房機器等
ガス空調システム	ガスヒートポンプエアコン (GHP)
太陽光発電システム	家庭用・業務用・自社売電事業
住宅関連機器	システムキッチン・洗面ユニット・浴槽・トイレ等
家電機器販売	エアコン (家庭用・業務用)・家電製品等
ガス供給機器	LP容器・バルク貯槽・ガスメーター・集合調整器・警報器等
建設業	管工事業・リフォーム業

1-6. 許認可

LPガス製造許可 滋賀県指令消 第746号

液化石油ガス販売登録 滋賀県25A0242

保安機関認定 第25A0003RA-(5)27号

簡易ガス事業 13ヶ所

都市ガス事業 近畿第53・67・78号

建設業許可 管工事業 滋賀県 (般-3) 第31315号

甲賀市上下水道局指定給水装置工事事業者 指定番号 K-43号

甲賀市下水道排水設備指定工事店 指定番号 K-43号

1-7.地域協定

災害時における放送等に関する協定(株式会社あいコムこうか: 令和元年10月10日)

地域防災協定(滋賀県エルピーガス協会)

1-8.その他レジリエンス認定

経産省 : 事業継続力強化計画認定 (令和5年度)

全国LPガス協会: 自立型LPガススタンド認証(令和6年4月1日)

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

現在法令違反、訴訟はありません。

今後ともコンプライアンス経営に努め関係法令順守と企業倫理確立を実施していきます。

NO	主な適用法規等	その対応	自己評価
1	液化石油ガス法	・一般消費者等の液化ガス販売契約締結時の書面交付と周知の徹底 ・供給開始時点検・定期供給機器点検・消費機器調査の実施	適正
2	高圧ガス保安法	・ガス容器の保安管理、ガス容器置場の届出、ユーザー啓蒙活動	適正
3	ガス事業法	・都市ガス、簡易ガス団地への安全供給と保安点検、ユーザー啓蒙活動	適正
4	消防法	・貯蔵届、消防計画書届出の徹底	適正
5	家電リサイクル法	・対象商品は確実にルールを遵守し販売・収集・運搬し再資源化	遵守
6	廃棄物処理法	・廃棄物の量を抑制し、きちんと分別し業者に引き渡す	遵守
7	グリーン購入法	・自社内における環境負荷の少ない環境商品の調達と推進	遵守
8	省エネルギー法	・省エネ商品の積極的販売 (ecoコンロ・ガス給湯器・ガス衣類乾燥機・エネファーム等)	遵守
9	循環型社会形成推進基本法	・3R(リユース・リデュース・リサイクル)の積極的実践	遵守
10	長期使用製品安全点検制度	・説明責任を果たしユーザー啓蒙を行い、ユーザー登録の徹底を図る	遵守
11	浄化槽法	・環境省令で定めた基準にしたがい点検の確実な実施	該当なし
12	PRTR法	・工業用ユーザー・業務用ユーザーにSDSを配布し周知する	遵守
13	建築基準法	・管工事、空調工事、500万円以下の建築工事	遵守



3. 環境目標とその実績

3-1. 活動計画内容と活動責任者

・環境管理組織①～④の部会を組織し、全社員で省エネ機器販売、3R活動等でCo2削減に取り組む

※各活動の責任者はP-10の環境管理体制図を参照ください

3-2. 環境目標

- ・ガス販売によるCo2発生量を明確化する
(内数として、燃転や省エネ機器販売や営業活動による削減量をCo2に換算する)
- ・自家使用によるCo2発生量を明確化し、基準年度比較でCo2削減を加味する
- ・2019年度実績を基準に、2023年の実績を評価した上で2024年の数値目標を作り
今後2023～2025年までの中期計画を策定し、基準年比90%削減を数値目標とする。

3-3. ガス販売量によるCo2 + 自家使用によるCo2 + 創エネによる削減Co2

スコープ1	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年目標
LPG販売実績(トン)	4,713.6	4,665.5	4,779.9	4,708.1	4,549.1	4,500
Co2発生量(2.88tCo2/トン)	13,575.2	13,436.6	13,766.1	13,559.3	13,101.3	12,960.0
都市ガス販売実績(千m3)	2,700.9	2,712.1	2,759.9	2,670.4	2,632.8	2,600
Co2発生量(2.05tCo2/千m3)	5,536.8	5,559.8	5,657.8	5,474.3	5,397.2	5,330.0
全Co2発生量トン	19,112.0	18,996.4	19,423.9	19,033.6	18,498.6	18,290.0

スコープ2	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標
自家使用によるCo2発生量トン	168.2	199.4	213.6	200.1	185.9	175.6

スコープ2	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標
発電によるCo2削減量トン	-22.5	-24.8	-21.2	-23.0	-22.7	-22.8

年間Co2発生量トン	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標
	19,302.8	19,220.7	19,658.8	19,256.7	18,707.1	18,442.8
基準年比削減量トン	基準年	-82.1	356.0	-46.0	-595.6	-860.0

(基準年度)比較Co2削減実績と2024年目標

2019基準年度	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度目標
100%	99.6%	101.8%	99.8%	96.9%	95.5%

Co2排出量削減計画

- ・自家消費による排出量削減(電気・ガス等の省エネ化・車両燃料費削減)のCo2を削減致します。
- ・ユーザー先で燃転や削減効果のある機器販売による想定排出量を数値化し、Co2削減量として計上します。
- ・太陽光発電の販売・自社設置をとおして、Co2削減に貢献してまいります。
(太陽光発電による売電数量はCo2削減に加味する)

3-4. エネルギー消費量等実態調査記録

2023年度 営業活動による環境貢献報告

2019～2023年度のCo2累計削減量を想定試算

スコープ2

創エネの部	発電所名/年度/排出係数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標	単位	kW当たりco2排出係数
	菅谷太陽光発電	58,194	64,344	54,793	59,343	58,576	59,000	kW	2022年度関西電力実績値 ▲0.362kg・Co2/kW
	事務所太陽光発電	4,057	4,081	3,874	4,065	4,080	4,000		
	①CO2削減量(ト)	-22.5	-24.8	-21.2	-23.0	-22.7	-22.8		

※2019年関西電力Co2排出係数を採用 売電力数量でカウント(事務所太陽光は一部自家使用)

スコープ2

自家使用の部	項目/年度/排出係数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標	単位	kW当たりCO2排出係数
	年間電気使用量	317,257.0	332,631.0	356,643.0	355,231.0	335,931.0	337,460.0	kW	0.362kg・Co2/kW
	都市ガス使用量	9,869.0	14,620.0	15,639.0	13,237.0	11,892.0	9,870.0	m3	5.40kg・Co2/m3
	年間車両燃料(水素)	0.0	0.0	22.0	37.5	34.7	36.0	Kg	0.0kg・Co2/kg
	年間車両燃料(軽油)	7.3	7.4	2.4	0.8	2.0	0.0	KL	2.58kg・Co2/ℓ
	年間車両燃料(配送車両軽油)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	KL	2.58kg・Co2/ℓ
	年間車両燃料(ガソリン)	16.2	18.0	20.1	20.2	24.5	19.0	KL	2.32kg・Co2/ℓ
	年間車両燃料(LPG)	17.4	13.5	10.0	9.4	8.6	9.0	KL	1.69kg・Co2/ℓ
	年間排出量	168.2	199.4	213.6	200.1	185.9	175.6	ト	規準年度差
	②差し引きCo2削減量	-	31.2	45.4	31.9	17.7	7.3	ト	

2024年度目標は前年度比▲5%の削減を計画し、基準年比 %を目標とします。

①+②のCO2削減量はスコープ2(自社削減量)にカウントします

スコープ3

燃転の部	項目/年度/排出係数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標	単位	kW当たりco2排出係数
	燃転顧客数	44	67	64	64	56	100	軒	▲163kg・Co2/年
	③Co2削減量(ト)	-7.2	-18.1	-28.5	-39.0	-40.9	-46.3		

※燃転は既存ボイラーからの変更と新規既存ボイラーからの変更を合算

スコープ3

省エネ商品の部	項目/年度/排出係数	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標	単位	kW当たりCO2排出係数
	エココンロ(BT含)	244	247	210	220	182	200	台	▲21.6kg・Co2/年・台
	エコジョーズ(販売)	34	43	59	69	70	80	台	▲139kg・Co2/年・台
	エコジョーズ(新規リース)	72	120	115	98	128	140	台	▲139kg・Co2/年・台
	エネファーム(新規リース)	0	1	2	0	1	5	台	▲1,500kg・Co2/年・台
	エコワン(新規リース)	2	1	1	9	5	10	台	▲977kg・Co2/年・台
	ガス衣類乾燥機	17	156	49	33	39	50	台	▲80.0kg・Co2/年・台
	ガス衣類乾燥機(新規レンタル)	0	0	0	0	0	5	台	▲80.0kg・Co2/年・台
	ガスファンヒーター(累計)	657	813	859	887	867	1,000	台	▲400kg・Co2/年・台
	④Co2削減量(ト)	-286.1	-391.5	-446.5	-497.1	-530.0	-616.5		削減量▲ト・Co2/年

※エコ化商材は既存商品との買替による削減で換算 エネファームは発電量も含んでの換算

※ガスファンヒーターは灯油ストーブからの変更として換算 ※エコワンは床暖併用で換算し52%Co2削減

※自動的にガス販売数量増減でCo2削減でカウントしているため最終の自社削減量には加えない

③+④は消費者先でのCo2削減量 スコープ3

想定Co2削減量ト ①+②+③+④	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標
	-315.8	-403.1	-450.8	-527.1	-576.0	-685.6

3-5. グリーン購入（Jクレジット含む）

2019～2022年度：調査及び検討期間
2023年度：調査結果に基づき取り組み、近隣工場にJクレジット付きLPGの提案をしたが採用なし

3-6. 産業廃棄物削減

年度	廃プラ	増減	木くず	増減	金属	増減	ガラス	増減	紙	増減	合計
2019	9.7 ^{トン}	—	11.4 ^{トン}	—	0.0 ^{トン}	—	0.0 ^{トン}	—	0.0 ^{トン}	—	21.2 ^{トン}
2020	16.5 ^{トン}	↑	1.1 ^{トン}	↓	2.0 ^{トン}	↑	0.0 ^{トン}	→	0.0 ^{トン}	→	19.6 ^{トン}
2021	11.5 ^{トン}	↓	5.1 ^{トン}	↑	16.1 ^{トン}	↑	5.6 ^{トン}	↑	0.7 ^{トン}	↑	38.9 ^{トン}
2022	8.7 ^{トン}	↓	11.6 ^{トン}	↑	23.5 ^{トン}	↑	2.4 ^{トン}	↓	0.0 ^{トン}	↓	46.1 ^{トン}
2023	10.2 ^{トン}	↑	11.9 ^{トン}	↑	24.6 ^{トン}	↑	7.2 ^{トン}	↑	0.0 ^{トン}	—	54.0 ^{トン}
2024目標	9.0 ^{トン}	↓	10.0 ^{トン}	↓	24.0 ^{トン}	↓	3.0 ^{トン}	↓	0.0 ^{トン}	—	46.0 ^{トン}

評価：2020年から金属・ガラス等はリフォーム事業開始の為、回収廃材が増加した
対策1：金属産廃は今後分別し有価金属として転売していく
対策2：紙類は古紙としてリサイクル回収業者に渡す

2024年度目標：上記活動で合計 46^{トン}（前年▲ 8^{トン}）に削減します。

2023年度	鉄屑	給湯器	ガスメーター	工業雑品	鉄線	合計
	10.923	7.14	1.42	0.59	0.135	20.208

※有価金属での転売実績（鉄屑回収）で大半をリサイクルに回せました 単位：トン

3-7. 2023年度環境目標・活動計画と2019～2022実績・評価

NO	環境目標	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	環境活動計画	判定
		実績	実績	実績	実績	実績	目標		
1	廃棄物排出	-	×	×	×	×	△	廃棄物の分別を徹底・実施する。	○
								（金属リサイクル・ダンボール類の分別・一般廃棄物の重量チェック）	○
2	電力消費量	-	×	×	×	○	△	外灯を水銀灯からLEDへ変更	○
								こまめで効果的なON-OFF操作	○
								工場伝統を水銀灯からLEDへの交換	○
3	ガス消費量	-	×	×	×	○	○	省エネ機器の使用推進	○
								GHP室内機の設定温度の変更	○
								GHP室外機リニュアルで省エネ化	○
4	水道使用量	-	×	×	×	△	△	防火訓練の効果的散水方法	×
								効果的なガスタンク向け散水	×
5	車両燃料の消費量	-	×	△	△	△	△	エコ運転状況分析の実施	△
5-1	水素ガス	-	-	○	△	△	△	燃料電池車両の実験的採用	○
5-2	軽油	-	×	○	○	×	×	軽油車両は削減していく	増加
5-3	ガソリン	-	×	×	×	△	○	ハイブリットなどエコカーに変更	○
5-4	オートガス	-	×	×	×	×	×	軽油車両のオートガス化	×

※1）基準年度2019年との比較でなく前年度比を評価します。
※2）廃棄物排出量の数量は、リサイクル金属等も含まれており今後はマニフェスト伝票で管理して分別を徹底管理し、削減に努めます。
※3）24年度LPG配送を内製化するため23年度末に配送用ディーゼル車両4台を増車しました
※4）『評価』及び『判定』欄の記号は次のとおり。

◎目標を達成できた ○一定の成果があった
△取組は不十分 ×未達成又は増加傾向

4. 主要な自家使用削減活動計画

4-1. 省エネ・省資源（前年度削減目標とその手法）

電気 使用数量目標 2024年度以降は前年比▲3%を3年間継続削減計画とします。

- ・廊下の消電、エアコン設定温度の変更、こまめで効果的なON-OFF操作
- ・事務所内電灯用LED化で省エネに貢献します(2021年3月完成)
- ・外灯のLED化で省エネに貢献します(2022年12月完成)
- ・充填工場の防爆型水銀灯をLED化し省エネに貢献します(2023年7月完成)

都市ガス 使用数量目標 2024年度以降は前年比▲3%を3年間継続削減計画とします。

- ・省エネ型機器の使用(エココンロへの切替)
- ・既存空調ガスヒートポンプエアコンの刷新による燃費効率アップ

水道 使用数量目標 2024年度以降は前年比▲3%を3年間継続削減計画とします。

- ・LPタンク向け散水用水道の効果的使用
- ・節水コマ利用、節水トイレの採用等

車両燃料 1)エコドライブによる燃料削減

2)配送車のドラレコ導入計画で運転状況管理⇒意識改革⇒燃料削減

2024年度以降は前年比▲3%を3年間継続削減計画とします。

- ・積極的なLPG車やハイブリット車輛(エコ車)への燃料転換 (転換率)

【基準年度】	2019年度	全社車両	33台	エコ車	14台	42.4%
	2020年度	全社車両	32台	エコ車	12台	37.5%
	2021年度	全社車両	32台	エコ車	11台	34.4%
	2022年度	全社車両	34台	エコ車	11台	32.4%
【報告年度】	2023年度	全社車両	39台	エコ車	12台	30.8%
	2024年度目標	全社車両	40台	エコ車	13台	32.5%



4-2. 社内5S運動を機軸に3R運動の徹底強化

社内5S運動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）により職場環境の美化と業務の効率化を目指す

とともに、3R活動が地球環境にも寄与することを認知し徹底します。

- ・リデュース ごみを出さない、金属製品ごみの分別を徹底
- ・リユース 都市ガス中型・大型膜式メーターの再生中古品を使う
- ・リサイクル 有価回収される鉄・アルミ・銅等金属類の徹底分別化

ペーパーレス化とリサイクル取組

①コピー用紙の再生紙利用や名刺にカーボンオフセット紙を利用

②コピー機の効率的な運用を考え無駄なコピーをなくします。

- ・スキャン機能を利用しデータ化により紙の保存を減らし使用枚数削減を実施します。
- ・社内間の通知、案内はイントラネット回線を使って電子案内等で行います。
- ・会議時の大量な資料は、オンライン共通ファイルを使用しペーパーレス化を徹底します。

③消費者にLINE登録していただき請求書発送なしのWeb請求にしていくことでのペーパーレス化

- ・2024.3.31現在 LINE登録1,757軒・Web請求1,088軒を次年度Web登録3,000軒まで推進する

基準年度	2019年度	OA用紙使用量	173,249	枚	減少比	減少数
	2020年度	OA用紙使用量	198,899	枚	114.8%	25,650
	2021年度	OA用紙使用量	186,902	枚	107.9%	13,653
	2022年度	OA用紙使用量	170,060	枚	98.2%	-3,189
	2023年度	OA用紙使用量	164,820	枚	95.1%	-8,429
報告年度	2024年度目標	OA用紙使用量	155,000	枚	89.5%	-18,249

★今年度は前年比 5,240枚削減できました

規準年度比 8,429枚削減できました

2024年度は前年比94%規準年度比90%の155,000枚を目標とします



コピー用紙10,000枚削減すると、杉の木を1本植えたのと同じ効果となります。

1本の杉が1年間に吸収するCO2量はたかだか▲14kg・Co2/年と少量ですが、継続こそ大切です！

4-3. 教育研修

①エコ検定取得支援 2023年度以降、社内研修と資格手当制度で合格者を増やします。

2023年度は11/24～11/29日にオンラインで4回にわたり40名受験し17名が合格しました

年 度	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年目標
エコ検定合格者	1名	1名	1名	18名	25名

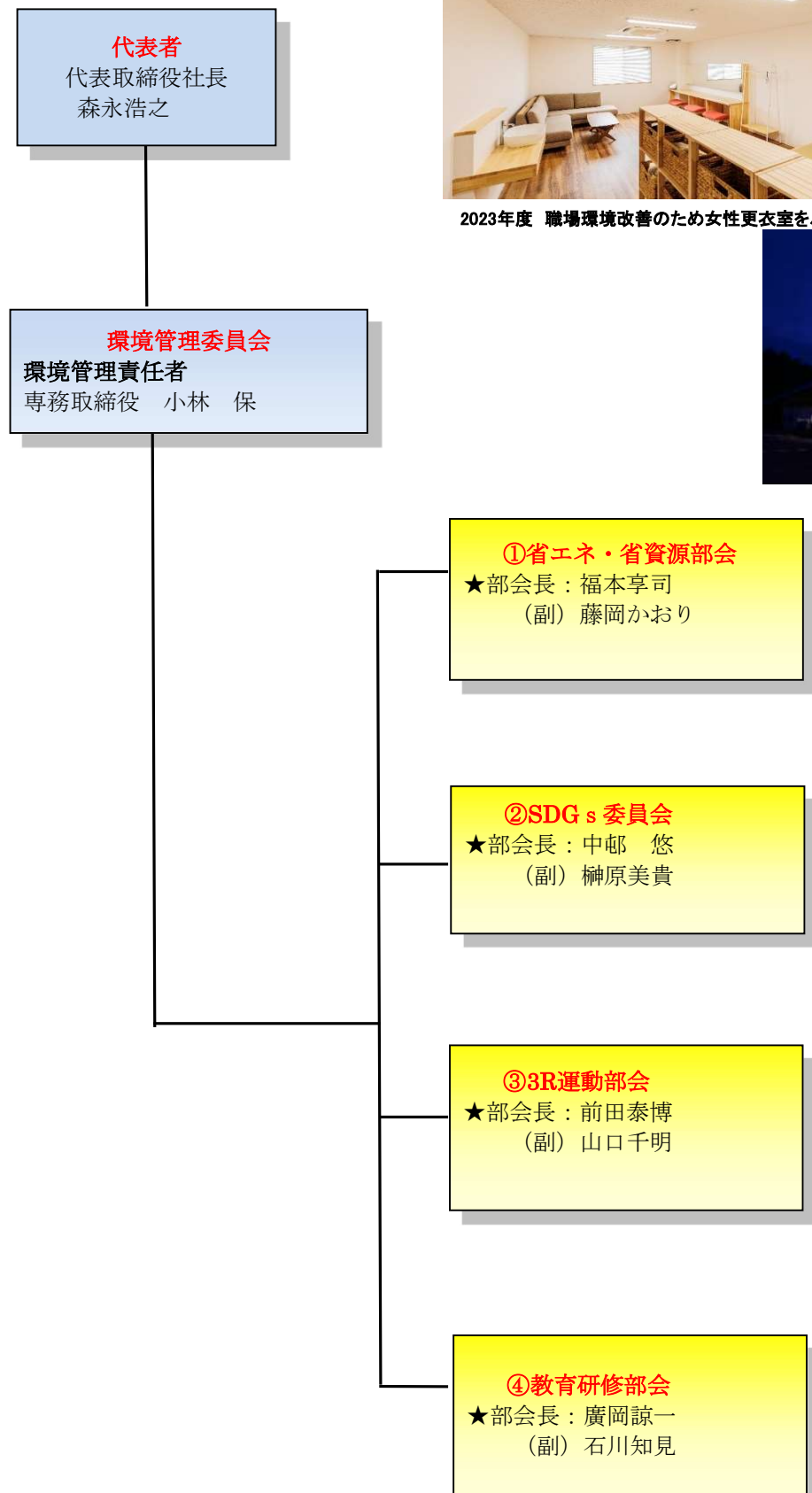
②SDGs委員会

運営会議の中で省エネに関する意識向上活動を促します。

SGDs活動報告をホームページで公表します



6. 環境管理体制図



2023年度 職場環境改善のため女性更衣室をパウダールームに改修



2023年度 充填工場の水銀灯をLED化

7. 代表者による評価と見直し

総括

スコープ① 2023年度ガス販売量が、LPG基準年度差▲165トﾝで▲474トﾝ・Co2、都市ガス販売量は同年度差▲68千m3で▲140トﾝ・Co2の実績となり、ガス合計での実績は▲613トﾝ・Co2の減少となりました。

- ① 気候影響: 気象台報告による2023年甲賀市年間平均気温は14.7℃で過去30年で最高気温であり基準年度差+0.3℃、その影響はガス総出荷量の基準年度比▲0.9%に相当します。(弊社経験値)
- ② 顧客数は基準年度差▲167軒減少で、LPG▲15トﾝ/年減少に相当し、▲43トﾝ・Co2相当の減少です。

スコープ② 創エネ・自家使用の部では2021年度ピークとし年々減少しているが基準年度比18トﾝ・Co2の増加です

- ① 創エネ部分では、自社太陽光発電2基が老朽化で発電効率が落ちており、メンテナンスが必要です。
- ② 自家使用部分で、電気使用は2021年をピークにLDE化影響で節電効果がみられました。
- ③ 都市ガス使用もGHP室外機を刷新したため燃費向上がみられました。

スコープ③ 省エネ機器販売削減による炭素削減が一番大きく▲530トﾝ・Co2となりました(省エネ商品の部参照)

- ①削減効果が大きいエネファーム1台、エコワン5台の実績と低調に終わり課題を残しました。
- ②エコジョーズの標準設置化が進んでおり増加傾向です。
- ③ガス衣類乾燥機の進捗が悪くなっており更なる拡販取組が必要です。

8.2024年度目標

スコープ① 次年度はLPG販売量4,500トﾝ、都市ガス販売量2,600千m3を見込み基準年度比840トﾝ・Co2の削減を目論みます

スコープ② 創エネ・自家使用の部では33トﾝ・Co2の削減を見込みます

スコープ③ 燃転と省エネ商材の部では650トﾝ・Co2の削減をを消費者先削減目標としエネファーム・エコワンの普及の強化
また直接Co2削減にはつながりませんが5S運動を基とした3R活動にも注力するとともに、環境に対する意識
向上の為の教育も実施していき、弊社のSDGs活動とも連携していきます

(変化) 物流2024年問題を契機に他社業務委託していたLP容器配送を2024年から内製化し自社配送とします。

については配送社員6名と、それに伴う配送車両6台分の軽油燃料使用量が増加しますが、配送地点は変わらず
スコープ2のCo2増加には影響ないと判断します。さらに自社配送となり配送効率をより良くするため配送地点の
組換えや、遠隔地の越冬配送を計画しており、配送距離数は格段に縮少し、燃料費の削減からCo2削減効果が
目論めます





KKG全景と「ひのきが丘工業団地」